



cafe通信 スノードロップ

NPO法人もの忘れカフェの仲間たちの
シンボルマーク「スノードロップ」

平成29年11月号

スノードロップの つ・ぶ・や・き・特集

暑かった夏を乗り越え、過ごしやすい秋が訪れました。

認知症疾患医療センター、NPO法人もの忘れカフェの仲間たちの活動も、
29年度の半期を迎え、日々変わらず、こつこつと取り組んでいます。

今号は、スノードロップのつぶやき特集と題して、

デイサービスセンターのスタッフたちが寄せた、

取り組みの中でのエピソードを皆様にお届けしたいと思います。

「つ」の出来事に、認知症の人の強さを感じ、

その言葉に私たちが勇気をもらい、次の一歩へと導かれています。

さあ、物語の世界へおすすすみください。

妻と共に歩む (10)

私の実践介護

藤本 寿雄

【排 泄 編】

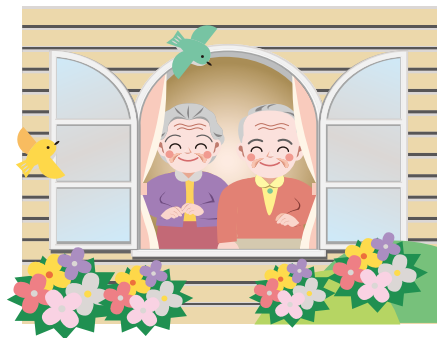
介護の覚悟や知恵を先輩から

私がはじめて本人・家族交流会に参加したのは、診断から約3年経過し要介護1の認定を受けた2004年のことでした。まだ傍から見れば普通の状態で、何とか一人で留守番もできていた頃です。先輩の参加者の皆さんが介護の様子をいろいろと話してくれました。阪神淡路大震災の被害でマンションから転居した途端に病状が進み、自分がトイレに入っている間も目が離せなくなった…。徘徊や失禁、食事介助のことなど…。最初の頃は時間が経つとこんなことになるのか…と想像するだけで嫌な気分になったものですが、同時に介護の覚悟や知恵をいっぱい授けてもらいました。

紙パンツは早い時期から…

最初の失禁は2006年9月でした。私にはすごいショックでしたが、交流会での先輩の話からいつかは…という覚悟はできていましたので、いよいよこれからが介護本番と自分に気合を入れることができました。

2007年には、しばしば失禁するようになりましたが、出来るだけ以前と同じように生活させたかったので紙パンツは使用していませんでした。2009年9月からお泊りデイの時は紙パンツを使用することになり、2010年8月からは自宅でも就寝時は着用、2011年からは昼間も常用するようになりました。本人が恥ずかしいとかイヤだとかいうことがなければ、もっと早い時期から使用



していたら、本人も私もゆっくり寝られたかなと、今になって思い返しています。

私の失敗を参考に…

いずれは失禁が始まると思われるので、ケアシート（シーツの下に敷く防水シート）は早い目に準備・使用を始めたらいと思います。私はこのタイミングを逃がしたので、ベッドマットがシミだらけになってしまいました。

2006年夏ごろ、トイレに行く回数が異様に多いので排尿抑制剤の服用を始めました。この薬が効きすぎたのか、2007年6月に便秘と排尿ができなくなり、洗腸・導尿を施され、これを屈辱と感じたようで大パニックに陥りました。今思うと、トイレに盛んに行きたがったのは、必ずしも尿意・便意があったからではなく、何をしたらいいかわからないので、トイレにでも行くかということだったのかもしれない。注意深く観察して、実際に排尿があったかどうかを確認していたら薬の服用はしなかったかもしれません。私の失敗を参考にしていただけたらと思います。

編集後記 ~ monowasure ~

今号では、毎日私たちに届けられる小さな出来事をまとめてみました。その言葉を聞き流すのか、心にとどめるのかは私たち次第。頑張らなければいけません。本人たちの言葉や想いは、いつも身近にある、ということを今一度確かめて、その呼びかけや問いかけをしっかりと受け取ることができる自分でいたいですね。

～最近がんばって言わないほうがいいなんて聞いたわ。なんか気に入らないわね。わたしは言うわよ。がんばらないさいよ、死ぬ気でがんばりなさいよ。血吐くまでがんばりなさいよ。その先に見えてくるものがあるんだから～ by リトルミイ

